

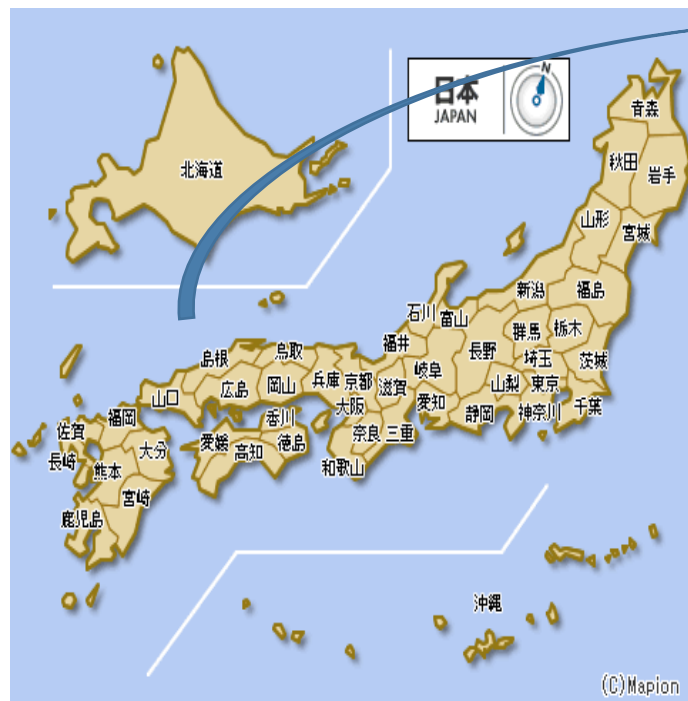
# 出雲市における地域生活支援 拠点等の整備について

出雲市健康福祉部福祉推進課  
大国 千晶

# 出雲市は



出雲市  
IZUMO



人口：175,220人  
世帯数：65,181世帯  
(H30年3月31日現在)

# 出雲市の障がい福祉の現状

障がい者手帳所持者：11,177人 H29年3月31日現在

種別	人数	割合	人口比
身体	8,146人	72.9%	4.7%
知的	1,563人	14.0%	0.9%
精神	1,468人	13.1%	0.8%
合計	11,177人	100.0%	6.4%

**出雲市の人口 174,724人** H29年3月31日現在

# 障がい福祉サービス利用者の状況

障がい福祉サービス利用者：1,992人（H29年度）

内訳 障がい者：1,536人

障がい児：456人

○訪問系サービス：351人

○日中活動系サービス：1,494人

○居住系サービス：475人

○障がい児通所支援：451人

○計画相談支援：611人

○障がい児相談支援：295人

# 出雲市の組織図

5つの組織を持って協議会を構成する

## 出雲市障がい者施策推進協議会

- ・障がい者計画策定、変更、進捗管理
- ・障がい福祉計画・障がい児福祉計画策定、変更、進捗管理
- ・関係機関の相互の連携促進、支援体制協議

①施策推進協議会：年2～3回開催  
各分野の代表

- ・テーマ別課題検討
- ・テーマ別課題研究
- ・全会議への提言

③ネットワーク会議  
随時  
全サービス事業所  
その他

②専門部会：  
部門別に定期開催  
関係相談支援事業所、  
関係者と市

現場の声

- ・情報提供・情報交換
- ・意見交換・研修
- ・スーパービジョン

④運営会議：毎月定例  
9か所の委託相談支援事業所  
と市（本庁・6支所）

- ・ネットワーク会議の事務局
- ・専門部会議題とりまとめ
- ・サービス調整会議の進行
- ・協議会の全体調整

- ・サービス等利用計画  
対象者の事例検討
- ・困難事例の対応協議
- ・サービス公平、中立

⑤サービス調整会議：毎月定例  
28指定事業所（9委託事業所  
含む）と市（本庁・6支所）

- ・ニーズ把握
- ・課題整理
- ・資源開発

機動性のある協議会・当事者の声を聞く

# 地域生活支援拠点の整備に向けて①

## 1 第5期出雲市障がい福祉計画への位置付け (抜粋)

- ①相談
- ②体験の機会と場
- ③緊急時の受け入れと対応
- ④専門的人材の確保と養成
- ⑤地域の体制づくり

⇒5つの機能を組み合わせた拠点を平成32年度末までに整備

- ①、④、⑤の機能・・・

機能強化相談支援事業所＋委託相談支援事業所を中心に取組み

今後

- 3つの機能をさらに強化
- ニーズや課題の整理

「出雲らしい」拠点のあり方を検討

## 地域生活支援拠点の整備に向けて②

### 2 現状と課題

#### (1) 現状

- 5つの機能のうち、3つの機能についてはネットワーク化が進んでいる。

①相談 ④専門的人材の確保と養成 ⑤地域の体制づくり  
⇒機能をさらに強化していく

- 2つの機能については、これから検討が必要  
②体験の機会と場 ③緊急時の受け入れと対応

# 地域生活支援拠点の整備に向けて③

## (2) 課題

### 具体的な課題

②体験の機会と場・・・・体験できる場、機会の確保  
運営にかかる財源の確保  
連絡体制の構築（情報共有）

③緊急時の受け入れと対応・・・・受け入れ場所の確保  
運営にかかる財源の確保  
連絡体制の構築（情報共有）



## 地域生活支援拠点の整備に向けて④

### 3 検討状況

平成30年6月26日

平成30年度(2018)第1回出雲市障がい者施策推進協議会議題

- ・ 予算面での制約、イメージ化ができない点等が課題

⇒当面はプロジェクトチームを作り、検討を進める。

【プロジェクトチーム構成員】

機能強化相談支援事業所 2名

委託相談支援事業所 7名

島根県障がい者相談支援アドバイザー 1名

事務局 市福祉推進課

## 地域生活支援拠点の整備に向けて⑤

平成30年8月29日 プロジェクトチーム第1回会議  
講演「地域生活支援拠点整備も視野に入れた地域づくり」  
講師：沖縄大学島村聡准教授

### (1) 講師からのアドバイス

- 当初から拠点のすべての機能を作ろうとしない
- 地域の事情に即した整備

⇒出雲地域にどんな支援体制を構築するかという議論が先

## 地域生活支援拠点の整備に向けて⑥

### (2) プロジェクトチーム構成員からの意見等

- 予算的な措置が十分でない。
- 平成32年度までの整備は容易ではない。
- 出雲らしい拠点とは？拠点のイメージができない。
- インフォーマルな資源も取り込んだ拠点作りが必要 等々



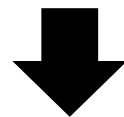
## 地域生活支援拠点の整備に向けて⑦

### 4 今後の検討の進め方

- ・プロジェクトチームを中心に、地域におけるニーズや課題の整理を行い、「出雲らしい」拠点のあり方を検討する  
～次回プロジェクトチーム会議開催予定～

平成30年11月中（予定）

議題 地域生活支援拠点整備に向けた地域課題の抽出（仮称）



- ・持続可能な拠点運営ができるよう慎重に検討を進め、平成32年度末までの整備を目指す